

安心して自宅に住み続けるために

墨田区既存住宅状況調査(インスペクション)支援制度が利用できます。

インスペクションとは、目視や計測により、住宅の基礎や外壁のひび割れ、天井の雨漏りなどの劣化・不具合が発生していないかを調べるものです。住宅の状態を把握することで、補修の必要性を踏まえた適切な改修計画を作ることができます。

【申請ができる方】改修、売却、賃貸等による住宅の利活用を検討している住宅所有者等

【対象住宅】居住するための住宅（事業用住宅は対象外です。）

【補助対象経費】国の講習を受けた調査技術者による既存住宅状況調査に係る経費

【補助率】 1/2 **【補助限度額】** 5万円

◆**制度を利用する場合は、既存住宅状況調査を契約する前に申請する必要があります。**

【申請に必要な書類】

- ・既存住宅状況調査の見積書
- ・調査技術者の登録証の写し又は、調査技術者であることが分かる書類
- ・補助対象住宅の所有者が確認できる書類の写し

◆**詳しくは、お問い合わせください。**

・問い合わせ先 墨田区都市計画部住宅課（墨田区役所9階）電話03-5608-6215

◆**改修に関する相談や既存建物状況調査ができる事業者を探す場合**

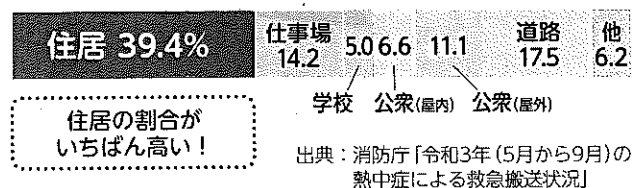
・一般財団法人 墨田まちづくり公社 京島事務所 「**住まい何でも相談処**」

電話03-3617-2262（平日 午前9時～午後5時）をご活用ください。

改修(リフォーム)することのメリット

★壁や床、窓など断熱性を高め、**熱中症・ヒートショック対策**

■熱中症救急搬送者の発生場所



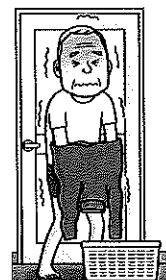
夏の熱中症救急搬送者の発生場所は、「住居」が第1位で、全体の約4割を占めています。

冬の部屋間の温度差は血圧の急激な上昇・下降を引き起こし、ヒートショックによる事故につながります。

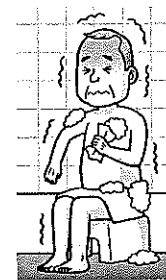
■部屋間の温度差がヒートショックのリスクを増やす



暖かい室内
血圧安定



寒い脱衣室
血管が縮んで
血圧上昇



寒い浴室内
血圧が
さらに上昇



熱めの浴槽内
血管が広がり
血圧低下

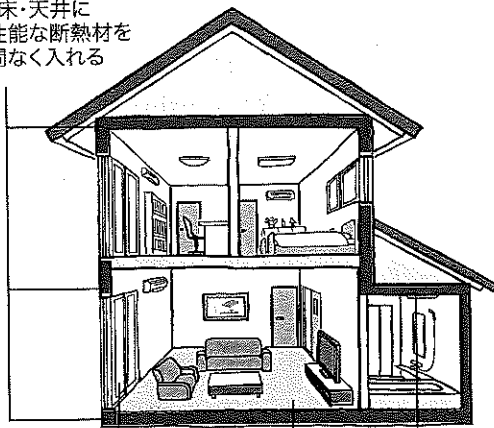
出典：国土交通省住宅リフォームガイドブック

★節水トイレや高断熱浴槽に交換して、省エネ対策

設備機器	推奨交換時期
レンジフード、調理加熱機器、給湯器、水栓金具、温水洗浄便座	10年目安
システムキッチン、ユニットバス、洗面化粧台、便器	20年目安

出典：一般社団法人リビングアメニティ協会「自分で点検！ハンドブック」

壁・床・天井に
高性能な断熱材を
隙間なく入れる



内窓の設置や断熱性の高い窓にする
床暖房を設置する
浴室暖房を設置する

断熱性の高い
床・壁・天井

内窓や
断熱性の
高い窓



保温性の高い浴槽
足元がヒヤッとしない床材

出典：一般財団法人ベターリビング「良好な温熱環境による健康生活」

★屋根や外壁、床下などの耐久性を高めて長寿命化対策

部位	点検の目安	設備更新・劣化対策
屋根	5年周期で点検	15～20年で全面葺き替えを検討
外壁	3年周期で点検	15年で全面補修を検討 (窯業系サイディング壁)
軒裏天井	3年周期で点検	15年で全面取替えを検討
サッシ・玄関ドア等	5年周期で点検	20年で全面取替えを検討
給排水管		20年で全面取替えを検討
フローリング	3年周期で点検	3～25年で全面取替えを検討
床下	5年周期で点検	5年ごとに防腐・防蟻処理を検討

一般財団法人住宅金融普及協会「住まいの管理手帳®(一戸建て編)を基に作成 出典：国土交通省住宅リフォームガイドブック

★耐震性を高め安全対策★非接触や換気性能、機能性建材による衛生性の向上によるウイルス等対策★自宅でも仕事ができる環境づくり★ライフステージに応じた間取り変更や二世帯住宅化★段差の解消や手すりの設置などのバリアフリー化★長期優良住宅化による快適性が高まり、建物の資産価値も維持・向上

墨田区住宅修築資金融資あっせん事業を拡充しました。

自宅の改修等を行う資金が不足する方に、区から区内等の信用金庫へ融資のあっせんをします。利子や保証料について、補助があります。

拡充：高齢者や障害者、子育て世帯や若年夫婦世帯の住環境の向上を目的とした改修に対して、利子が全額免除されます。(所得制限あり)

その他、要件があります。詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先 墨田区都市計画部住宅課(墨田区役所9階) 電話03-5608-6215(直通)